

津和野町体育協会

—— これまでのあゆみ

平成17年9月25日に旧日原町、旧津和野町の2町が合併し、現在の津和野町が誕生。平成19年4月には、津和野町体育協会と日原町体育協会が合併し、22競技協会の加盟のもと、津和野町体育協会が設立された。初代会長に豊田國男氏を迎え、長年にわたる尽力の後、平成27年4月から滝元三郎氏が第2代会長に就任し現在に至る。

町村合併に伴う組織の再編により、会則の整備や各種事業の検討など、さまざまな課題を抱えながらも、会員や町当局、地域住民の支援を受け、スポーツの普及、振興、発展を図ってきた。

—— 現在の状況

近年は、人口減少と少子高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響によって、活動数が減少傾向ではあるが、新たなクラブが設立されるなど、小規模ながらも活発な活動をしている。

現在では、24競技団体が加盟し、450人以上の会員が活動している。各団体が各種大会への参加や町民のスポーツ振興を目的とした教室、大会を開催し、町の健康増進に寄与している。



つわのSL健康マラソン

津和野町ではさまざまな学校、社会体育施設を一般開放しており、特に、グラウンドゴルフ場がとても好評であり、毎年1万人を超える利用者がいる。

また、体育協会主催の「日原ロードレース大会」、「津和野町駅伝競走大会」、「つわのSL健康マラソン大会」では、町内外から多くの参加があり、スポーツを通じて町の活性化に取り組んでいる。

—— これから

各競技団体において、競技者年齢の高齢化及び若年層の減少が課題となっている。普及振興のための体験教室などを積極的に実施し、競技者人口増に向けて取り組み、スポーツで町を活性化できるよう、会員一丸となって取り組んでいきたい。

また、2030年に開催される「島根かみあり国スポ・全スポ」では、津和野町がスポーツクライミング競技の開催地となっており、スポーツクライミング連盟も発足し、町をあげて機運が盛り上がっている。

国スポという好機を最大限活用すべく、今後は、より一層の普及に取り組み、スポーツクライミングと地域が密着した町づくりを進め、2030年以降にレガシーを継承できるよう取り組む所存である。



スポーツクライミング